



2024年11月14日

各位

スパークス・グループ株式会社  
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平  
(コード8739 東証プライム市場)

### 「未来創生3号ファンド」

#### テレプレゼンスシステム「窓」を提供する MUSVI 株式会社への投資実行

—対面のような臨場感のある通信システムの提供で、人手不足やコミュニケーションにまつわる課題を解決する—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立された「未来創生3号ファンド」が、MUSVI株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 / Founder & CEO：阪井祐介、以下「MUSVI社」）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。MUSVI社は今回の調達資金を活用し、新機能・サービスの開発・営業の強化を進めています。

#### ■投資先企業の概要

MUSVI社のテレプレゼンスシステム「窓」（以下「窓」）は、ソニーグループ株式会社での25年以上にわたる技術開発に基づき、圧倒的な臨場感と遅延感のなさで対面同等のリアリティを実現した遠隔コミュニケーションのシステムです。2022年9月、MUSVIによる「窓」を用いた空間接続ソリューション事業が本格稼働し、約2年間で国内外500台を超える「窓」が導入され、着実な成長を遂げてまいりました。

#### ■「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生2号ファンド」および「未来創生3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2024年10月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,135億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

#### ■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室  
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101  
pr\_media@sparxgroup.com